



vol.2 コンケン県

東北の中心で イサーンの心と 現代に出会う

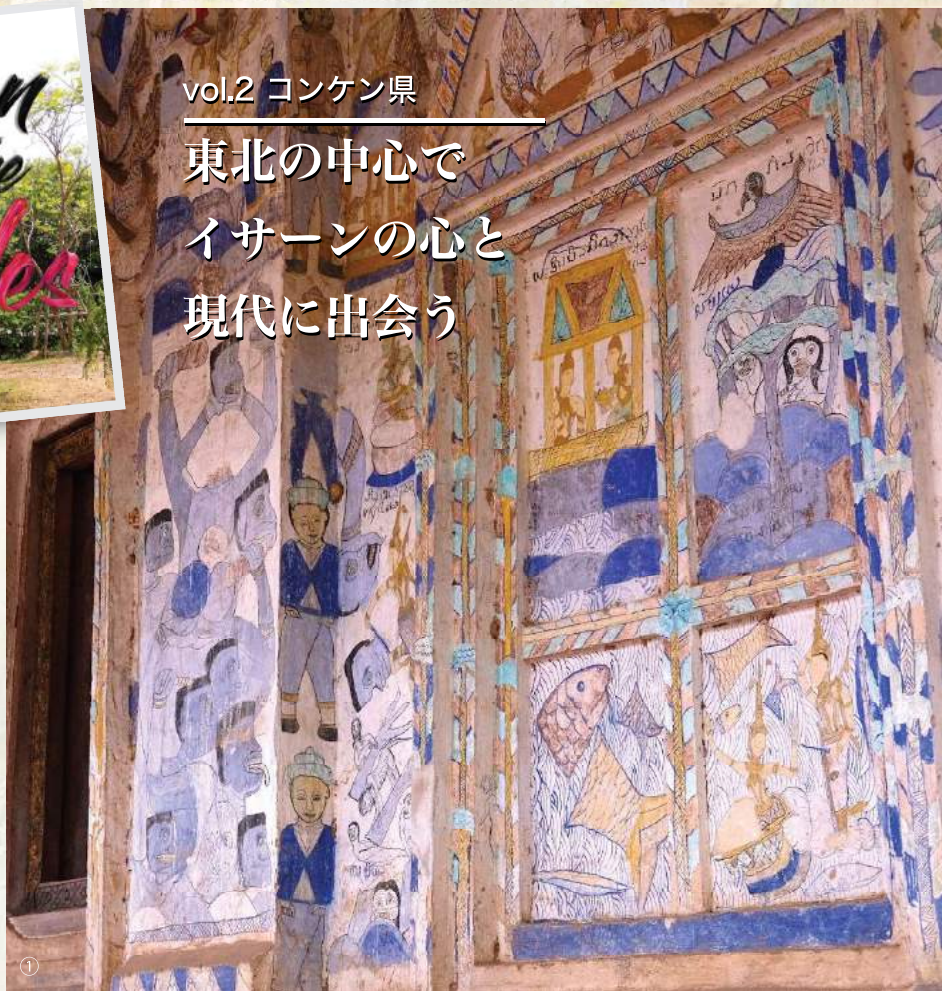
洗練されたイサーンの
レストラン、クルア・スパンニガー

Open to the New Shades
第2回は東北部イサーンで2
番目の大きさを持つコンケン
県。コーラート台地の中央に
位置し、チー川が流れている
のどかな地です。第2回、第3
回とタイ観光庁の取材協力の
もと、イサーンのコンケン県、
カラシン
県の魅力
をそれぞれ
お届けし
ます。



access

バンコクより飛行機で約1時間。ノックエア、エア
アジア、タイスマイルなどが就航。空港からの移
動は、空港や宿泊したホテルで運転手付きワゴン
車を手配するのがオススメです。



歩く・見る

ワット・チャイシー

藍で彩色した珍しい壁画は必見

100年以上前に建築された建造物。屋根のみ1982年に
現在のラッタナコーシン様式に改修、他はかつてのまま
保存されています。内壁外壁にはベッサンタラ王子物語
やラオ系古典文学の「シンチャイ」などが生き生きと描
かれています。美しいブルーはタイの藍染「クラム」で彩
色したもので、西洋のものとも東アジアのものとも少し
違う、不思議なアートとして楽しむことができそうです。
内部は残念ながら女人禁制です。

ワット・ノンウェーン

市内の景色を一望できるコンケンのシンボル

コンケンのシンボルの八重の塔。
9階までぐるぐると階段を上ると
穏やかな市内の景色を一望できま
す。各階には仏教にちなんだ収蔵
品が数多く展示されており、壁に
はコンケンで伝えられている禁忌
カラムを示した壁画が数多く描か
れていて市民に親しみやすく紹介
されています。



①②美しいブルーと自由なタッチで描かれた物語 ③子どもたちが歌と踊りで歓迎



①八重の塔はコンケンのシンボル ②本尊 ③亭主不在時の妻のお洒落を戒めるカラム ④緑の多い市内を一望

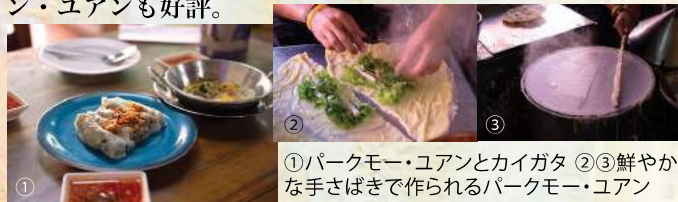


コンケンを食べる

バーン・プーバーン

朝食にいかが？ 名物ベトナム料理

コンケン近辺にはベトナム系住民も多くベトナム料理も人気。名物は春巻き「パークモー・ユアン」。さらしをかぶせた蒸し器に生地を伸ばして蒸します。もちもちした麺のクアイチャップ・ユアン、フランスパンを使ったカノムパン・ユアンも好評。



①パークモー・ユアンとカイガタ ②③鮮やかな手さばきで作られるパークモー・ユアン

■7:00-14:00 年中無休(冠婚葬祭などで臨時休業あり)

クルア・スパンニガー

隠れ家風 大人のタイ料理

トンローのスパニガーのファミリー店。トンロー店のオーナーはコンケン出身なのだそう。大きな庭が併設されたレストランは開放的で居心地の良い贅沢な空間。スタイリッシュなタイ料理を楽しむことができます。一日数組限定のホテルも好評。



①宮廷料理だったというひき肉とオレンジのマーホー ②優雅に快適に過ごせる店内 ③おススメのドリンクはナムブン・マナオ・ペリエ

■Krua Supanniga 11:30-20:30 火曜定休

ラーン・ドゥアンピッサワート

ノスタルジックでデコラティブなタイ料理

イサーン料理とタイ料理の両方が楽しめる店。オーナーのこだわりの詰まったノスタルジックな内装は、ごちゃごちゃとしているようで不思議な統一感。半屋外の店内には猫スタッフ(?)もおり、愛想よく出迎えてくれました。フォトジェニック間違いなし。



①猫のお出迎え ②③こだわりのインテリア ④東北の主食のもち米をバタフライピーの花で真っ青に染めて、ごはんもポップ。ガイヤーンと

■@@@@@ @曜定休

観光スポット NEW WAVE

スワン・カセート・ミーキン・オーガニックファーム

ファームライフ・料理・石鹸作りを体験！

家族経営で農場と宿を3年ほど前にスタートしたという小さなかわいいファーム。完全予約制で農場・料理・石鹸作りなどが体験できます。今回は畑で採れた新鮮な野菜やハーブを使ってエビのサラダ「プラー・クン」、イサーンの魚醤パラと青パイヤの「ソムタム・パラ」、黒いもち米を焼いて溶き卵をつけた焼きおにぎり「カオヂー」を作ってピクニック気分でランチを楽しみました。小さなピンクの花がかわいらしいパク・カエーンは、イサーンではラープなどによく使われるハーブで、ほんのり紫蘇のような香りがします。和名はシソクサ。



①農園のカボチャとココナッツジュースで作ったウェルカムドリンク ②花やハーブでデコレーションしたプラー・クン ③左がソムタム・パラ、右がプラー・クン ④水牛のカムーン。糞で肥料づくりに貢献中 ⑤ランチは心地よい風にふかれて

■@@@@@ @曜定休

Mamafakaギャラリー

ストリートアートの寵児TUMの作品を見る

ウォールアートで一世を風靡したアーティストMamafakaのギャラリー。作家のTUMさんは35歳の若さでこの世を去っていますが、お母さまと妹さんがギャラリーを案内してくれました。TUMさんは日本のストリートアートに大きな影響を受けたそうで、愛用品の画材や資料の中には日本のものが多数ありました。



①作品とグッズ ②愛用品の展示も ③TUMさんの肖像 ④妹のTaiさん。日本語が少し話せます

■@@@@@ @曜定休

タイ赤十字・タイ国際シルクフェスティバル



お菓子、タイフード、果物や玩具、洋服と様々な露店がひしめき、伝統音楽やミスコンのステージ、子どもたちの圧巻のショーもあるローカル色豊かなお祭り、言葉が分からなくても十分に楽しめます。国際シルクフェスティバルでは、タイを含めたアジア6か国が出品しており、お気に入りを探すチャンス。2018年は11月29日～12月10日の開催でした。



P22



赤白対抗リレー

P32



表紙：バイシースークワンの儀式
 場所：コンケン県ワット・チャイシー

2月号 目次

【特集】

0 5 **共生と共感の未来へ**

国連教育科学文化機関(ユネスコ)・アジア太平洋地域事務所長 青柳 茂

【活動報告】

- 1 5 第16回中根杯【青少年部】剣道サークル
- 1 6 姿勢改善 ピラティスレッスン【婦人部】
- 1 7 第56回日本人会バドミントン親睦大会を終えて
 【運動部】バドミントン同好会
- 1 8 チャリティーコンサート開催【文化部】ゴスペルクワイヤーPhricks
- 1 9 CP ALLグループが設立したパンヤピワット経営大学を見学
 【文化部】タイを知る会
- 2 0 第22回陶楽の会作品展【文化部】陶楽の会
- 2 2 第14回日タイ交流・小倉百人一首バンコクかるた大会
 (在タイ日本国大使館杯)【文化部】クルンテープかるた会
- 2 4 2018年すすく会わんぱくミーティングクリスマス会
 【厚生部】すすく会
- 2 6 タイ国開教留学僧の会主催 日本人納骨堂法要【事業部】
- 3 5 ネイティブの英語の先生を囲んでクリスマスティーパーティー
 【企画推進部】
- 3 6 ミャンマー最後の桃源郷カレン州パアン写真撮影旅行
 【文化部】クルンテープ写真倶楽部

【学校だより】

- 3 2 **子どもが輝く運動会を目指して** 泰日協会学校 小学部体育主任 長坂祐哉
 赤組応援団副団長・小熊孝龍 白組応援団副団長・山本琴菜

【作品発表】

- 1 2 バンコク短歌会
- 1 3 メナム句会



P31

【連載】

- 0 2 **Open to the New Shades vol.2** コンケン県
- 1 0 河の都アユタヤー レヌカー・M
 ラーマティボディー 2 世の宮廷(1)
- 3 1 タイのお菓子は二度おいしい ムシカシントン 小河修子
 「うずらの卵」はサツマイモとタピオカ粉の揚げボール
 カノム・カイノックラター

【広報欄】

- 1 4 バンコク子ども図書館 2月の新着本紹介
- 1 4 日本人会会員証を使えるお店 新規優待店紹介
- 2 7 理事会議事録(12月度)
- 3 0 日本人会定期總會のお知らせ
- 3 4 ゴルフ部月例会成績
- 3 4 編集後記
- 3 9 **すすく会通信Vol.10**

共生 の 共感 と 未来 への

◎特集

国連教育科学文化機関 (ユネスコ)
アジア太平洋地域事務所長
青柳 茂



Diversity Tree

ユネスコは、教育、科学、文化の協一
福祉の促進を目的とした国際連合の
バンコク事務所はアジア太平洋地
所です。今月はユネスコ・アジ

力と交流を通じて、国際平和と人類の
専門機関で、現在加盟国は195カ国。
域46カ国を管轄する地域教育事務
ア太平洋地域事務所長の青柳 茂
氏にご寄稿いただきました。世界各地の紛争やテロの負の連鎖を断つ一つの手掛かりとして、
異なる宗教・文明間の対話の促進と「共感」「想像」の力を高める教育が認識されていること、
タイで行われている移民を対象とした教育プログラムの取り組みなど示唆に富むお話です。

2015年11月、同時多発テロで130人もの命が失われたパリで、喪に服し抗議を表明するために人々が集まった





2015年11月、同時多発テロで130人も命が失われた翌日14日の早朝、まだ薄暗いパリは、ひとびとの悲しみと喪に服す思い、残虐な行為に対する憤りに静かに満ち、沈んでいるように見えました。

全加盟国が集まる2年に一度の総会中であつたユネスコは、その日、半旗を掲げました。週明けから始まつたユネスコ創設70周年を記念したフォーラムでは、各国の首脳が、犠牲になつた人々やその家族に弔意を表するとともに、ユネスコに対し紛争解決、平和構築に向けて、教育や文化といったソフトパワー拡充の一層の努力を促しました。特に強調されたのは、文明・宗教間の対話や、異なつた民族、文化に対する理解と尊重を深める地球市民教育や、持続可能な開発のための教育普及を通じての長期的な紛争解決への貢献でした。紛争の根っこにある

貧困、不平等、不公平感を是正しなければ、パリで起こつたような悲劇を断ち切ることは難しいとの主張は、重く沈んだ雲間に垣間見える小さいながらも澄んだ青空のように思えました。

それから3年余が過ぎ

た今も、国家間や社会に根強くはびこる貧困と経済格差は、世界の多くのひとびとの中に、不平等、不公平感や抑圧や閉塞感を生み出しています。苦しい状況を日常の営みの中で打開することに失敗したひとたちの中には、時に暴力を頼み、テロに走るものもいます。犠牲になつたひとたちの家族や近親者の中には新たな悲しみや憎しみが生まれ、報復の連鎖が始まることも少なくありません。

この悪循環を断ち切る長期的、本質的な解決策はあるでしょうか。容易な答えはありませんが、一つの手掛かりとして、異なる宗教・文明間の対話の促進と、教育によつて「共感する力」「想像する力」を高めることが認識され始めています。

ユネスコの誕生と理念

ユネスコは、1945年11月、第二次世界大戦の惨禍が人類にもたらした荒廃と悲劇への反省から、「戦争は人の心の中に生まれるものであるから、人の心の中に平和の砦を築かなければならない(ユネスコ憲章前文)」という設立目的を掲げて誕生しました。ユネスコの前身

である国際的協力委員会では、日本の新渡戸稲造氏が、マリー・キュリー、アインシュタインなどの知識人らと共に委員を務めていましたが、第二次世界大戦の勃発により、活動を停止したという経緯があります。現在ユネスコは195の加盟国を数え、諸国民の教育、科学、文化の協力と交流を通じて、国際平和と人類の福祉の促進を目的とした国際連合の専門機関として活動しています。日本は1951年に加盟し、松浦晃一郎氏が1999年から2009年まで第8代目の事務局長を務めました。

先に紹介したユネスコ憲章の前文は、「相互の風習と生活を知らないことは、人類の歴史を通じて世界の諸人民の間に疑惑と不信を起こした共通の原因であり、この疑惑と不信のため、諸人民の不一致があまりにもしばしば戦争となつた。」と続いています。憲章は、差異に対する無理解、無知や共感の欠如が戦争を生み出したと反省し、より良い将来への提言を構成しています。違いを認め、理解し、共感することの重要性を指摘し、「文化の広い普及と正義・自由・平和のための人類の

教育とは、人間の尊厳に欠くことのできないものであり、かつ、すべての国民が相互の援助及び相互の関心の精神を持って、果たさなければならぬ神聖な義務である。」としています。

一方、2015年9月国連で採択された17の持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals:SDGs)は、現在の世界が直面している、貧困、飢餓、健康、教育、ジェンダー、水と衛生、エネルギー、雇用、産業、不平等、都市、海洋、消費、気候変動、環境、平和、パートナーシップなどの諸問題を2030年までに世界の国々が協力し合い解決することを目指すものです。

これを受け、ユネスコは「持続的開発」と「平和構築」の二つの柱を中心とするプログラムを、教育、文化、科学、情報とコミュニケーションの分野で実施しています。

バンコク事務所は46カ国を管轄する地域教育事務所

ユネスコのバンコク事務所は、アジア太平洋地域46カ国を管轄する地域教育事務所という位置づけにあります。

同地域でのプログラムとしては、例えば、持続的な共生を目的とするASEANにおいて未就学児童や若者に学習機会を与えるためのASEAN宣言の政策支援。また、タイでの具体的な活動例を挙げると、チェンライ・メーホンソンや南部の県に住む、最貧、少数民族、障害を持つ子どもや若者を対象に公民館や特別学習センターにおいて基礎学習の促進に努めています。

また、バンコク郊外、ターク県などの移民の子どもたちにサテライトテレビ、インターネット、タブレットを用い、彼らの識字と算数能力を高めるプログラムを実施しています。このプログラムはタイ政府、マイクロソフト、True Cooperation、NGOとの共同実施です。

隣国であるラオスやミャンマーにては両国の政府と協同で、初等教育に入学する機会を逃していた未就学児、すでに退学をした子どもたちへ通常の半分の時間（2年もしくは3年）で初等教育や中等教育を修了できるプログラムを構築し実施しています。

このようなプログラムでは、

政策策定、カリキュラムデザイン、教材開発、人材開発のための支援がユネスコの主な仕事になります。2015年以降、上記3カ国にて約5万人の恵まれない子どもや若者がユネスコの支援を政府やNGOを通して受けています。

教育関連プログラムに加え、アユタヤやスコータイなどの世界文化遺産の保護と観光の振興、メコン川流域での水資源の有効管理や環境維持、気候変動への対策なども実施しています。それぞれの活動の結果が、何らかの形でタイを含むアジア地域の安定と平和に貢献するように、タイの教育省、文化省、環境省やNGO、タイの民間企業等と綿密に連携しながら進めています。

日本が世界に貢献すべきこと できることは多い

人類を数十回滅亡させるほどの強大な核兵器を保有する現在の世界では、一国の終焉は世界の終焉を意味することに通じま
す。誰かがボタンを押せば、ジ
・エンドとなる危機は、冷戦以

後も形を変えて続いています。広島・長崎の経験を経て非戦平和主義を保ってきた日本が、核の均衡の上に成り立つ危うい平和や、力による制圧を頼みとする平和から、共生と共感の未来作りに向けて今世界に貢献すべきこと、できることは多いと考えています。

憲法第9条のもと戦後長きに渡り日本を平和な国たらしめた平和維持のアプローチ、近年激しさを増した台風や大雨による被害や度重なる大震災の後の官民・地域ぐるみの助け合いの精神が寄る辺となった復興する力、岡山や気仙沼で育ちつつある持続可能な開発に向けての教育を中心とした地域の取り組み、これらはたくさんの国々が注目する、日本の誇るべき優れた事例です。

この様な、日本の平和主義や人間の安全保障重視政策、防災と災害後の対処法、教育を通じて持続可能な開発にむけての意識と活動の喚起等は、世界に誇るべき日本の試みです。日本を取り巻くアジアの国々がSDGsを達成し、より明るい共生と共感の未来の構築に向けて、日

本は官民一体となり強いリーダーシップを発揮するべきだと考えています。

他者に「共感」し「想像」すること でひとは「共生」できる

混沌とした先の見えにくい状況で新年を迎えましたが、今こそ日本は、わたしたち自身とアジアのひとびとにとって持続可能な開発や平和構築に効果のある二国間支援や国際機関を通じての多国間協力等を積極的、戦略的に進めていくべきだと思います。

平和とは単に武力紛争のないことを意味しません。ひとびとが心配やもめごとがなく、おだやかに暮らせる平和な社会は、不均衡の是正や、宗教、文化、民族を超えた差異や痛み
の共感なしには達成できないでしょう。他者に「共感」し、他者の痛みや違いを「想像」することで、ひとは「共生」できるのだと思います。

ユネスコの活動にご興味のある方は、ぜひ当事務所ウェブサイトを
ご訪問ください。

<https://bangkok.unesco.org/>



関連ビデオ

- ◆アセアン未就学児 Out of School, not out of reach_UNESCO Bangkok - YouTube
- ◆タイ・メーホンソン県 学習プログラム Flexible Learning Strategies in Thailand - YouTube
- ◆生涯教育促進キャンペーンビデオ
พลังแห่งการเรียนรู้เพื่อคนที่คุณรักและห่วงใย
- Lifelong learning for people you love and care for - YouTube

サテライトテレビ、インターネット、タブレットを用いて、移民の子どもたちの識字と算数能力を高めるプログラム。タイ国ターク県にて



【青柳 茂】1958年仙台市生まれ。財団法人・ユネスコアジア文化センターを経て、2002年からユネスコ・パリ本部勤務。識字ノンフォーマル教育課長、ユネスコ・アフガニスタン代表、ユネスコ・ニューデリー事務所長を務め、2018年5月から現職。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



2015年9月に国連で採択された17の持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals : SDGs)。貧困、飢餓、健康、教育、ジェンダー、水と衛生、エネルギー、雇用、産業、不平等、都市、海洋、消費、気候変動、環境、平和、パートナーシップなどの諸問題を2030年までに解決することを目指す